

Q-SYS Designer Version 5.4 Release Note

ソフトウェア要件

Q-SYS Designer は下記の OS での動作確認をしております。

- ・ Windows 7 Professional 32-bit / 64-bit
- ・ Windows 8.1 Professional 32-bit / 64-bit
- ・ Windows 10 Pro 64bit

※Windows XP および Windows 8 Pro 32-bit / 64-bit での動作確認は行っておりません。

Q-SYS Designer をインストールするためには下記のソフトウェアパッケージが必要です。

- ・ Microsoft .NET Framework 3.5 (自動でインストールされます)
- ・ Microsoft .NET Framework 4.0 Client Profile (自動でインストールされます)
- ・ Microsoft .NET Framework 4.0 Extended (自動でインストールされます)
- ・ Microsoft Visual C++ 2010 Runtime (自動でインストールされます)
- ・ VLC Media Player (オプション / WAN Streaming コンポーネント使用の場合)

重要

アップグレードを実行する前に必ず以前のバージョンでバックアップファイルを作成してください。また以前のバージョンで作成したバックアップしたファイルは新しいバージョンで開かないでください。

- ・ Version 2.0 より前のバージョンからアップデートする場合は一度 Version 2.0 にアップデートします。
- ・ Version 3.3 より前のバージョンからアップデートする場合は一度 Version 3.3 にアップデートします。
- ・ Version 4.2 以降のバージョンを使用する場合は必ず Version 3.3 以降にアップデートされたファームウェアを使用しなければなりません。

Version 5.4 から変更された点

- ・ Q-LAN ネットワークに IEEE 規格の Video-over-IP 機能を搭載
- ・ Q-SYS Designer 内で AV-to-USB Bridge 用のビデオワイヤリング機能を搭載
- ・ 新製品の PTZ-IP カメラおよび AV-to-USB Bridge 用の USB I/O Bridge のコンポーネントを追加
- ・ Q-SYS Core110f の USB-B ポートがビデオブリッジに対応
- ・ AV-to-USB Bridge を使用したサンプルファイルを追加

新しいコンポーネントの追加

Q-SYS Designer 5.4には多くの変更と追加があります。またこのリリースにアップグレードする際に注意が必要なコンポーネントもあります。現在の設計に大きな影響を与える可能性がありますのでアップグレードする前に必ずデザインファイルのバックアップを取ること、ソフトウェアを使用して理解した後アップグレードを実行してください。

Inventory Components

・ PTZ カメラコンポーネント

Q-SYS PTZ-12×72 と PTZ-20×60 のコンポーネントを追加しました。

Q-SYS PTZ カメラは AV カンファレンスソリューションで Q-SYS I/O USB Bridge や Core110f の USB ポートを使用して USB Video Bridge を使用することが出来ます。

・ I/O USB Bridge コンポーネント

Q-SYS I/O USB Bridge コンポーネントを追加しました。

Q-SYS I/O USB Bridge コンポーネントはビデオと音声の IP ストリームを USB に変換します。I/O USB Bridge と Core110f の両方で USB Video Bridge と USB Audio Bridge の機能を搭載しています。

・ TSC-47-G2 コンポーネント

Q-SYS TSC-47-G2 コンポーネントを追加しました。

Q-SYS TSC-47-G2 コンポーネントは UCI コントロールで TSC-47-G2 ハードウェアを使用する際に使用します。

Video Components

・ Video Camera Router コンポーネント

Video Camera Router は PTZ カメラ映像をブリッジするために使用します。(最大 255 カメラ入力×50 ブリッジ出力)

Q-SYS Administrator

・ Cameras タブ

Q-SYS PTZ ビデオカメラをサポートするための項目を追加しました。このセクションでカメラのセットアップを行います。

BETA Version の機能

Q-SYS Designer BETA バージョンの追加点。これらのコンポーネントは開発途上になるため機能は変更される可能性があります。

- ・ Channel Group
- ・ SPL/L eq Meter
- ・ Timeline

Version 5.4.106 で発生する問題点

Core110f USB Video Bridging

【問題点】

Core110f の USB Video Bridge は IP ストリーム 1 のビデオストリームのみを受信することが出来ます。

【概要】

現段階で Core110f のビデオブリッジコンポーネントは Motion JPEG ストリームのみ受信することが出来ます。Motion JPEG ストリームは Skype for Business、GoToMeeting、Zoom などのソフトコーデック会議アプリケーションと互換性があります。

【回避策】

Core110f のビデオブリッジにおける IP ストリーム 2 のサポートは今後のソフトウェアアップデートで実装される予定です。

IP Stream 1 Default Resolution

【問題点】

IP ストリーム 1 のデフォルトのレゾリューションは 720p に設定されています。

【概要】

入手可能な様々なソフトコーデック会議アプリケーションとの互換性を保証するためにこの解像度に設定されています。

【回避策】

Q-SYS Administrator の Cameras タブで IP ストリーム 1 の解像度を 576p、720p、1080p で設定することが出来ます。

Camera Snapshots

【問題点】

PTZカメラのコンポーネントはカメラポジションのみ Snapshot に保存することができます。

【概要】

PTZ カメラのコンポーネントを Snapshot に加えた場合に任意の位置に設定したカメラポジションは Snapshot に保存されます。その他の値も Snapshot に登録は出来ませんが値は保存されません。

【回避策】

他のカメラパラメーターは今後のソフトウェアリリースで Snapshot に保存されるようになります。

Core110f USB 3.0 Support

【問題点】

Core110f において AV-to-USB Bridge を使用する際に USB3.0 ケーブルを使用できません。

【回避策】

USB2.0 のケーブルを使用してください。USB3.0 のケーブルを使用しなければならない場合は PC 側で USB2.0 のポートを使用してください。

Remote Paging

【問題点】

リモートページングシナリオの Administrator Guest Permission 内の “External Control Protocol” を ” NO ” にすると Status が ” Fault-Not Connected ” になる。

【回避策】

Administrator Guest の ” External Control Protocol ” を ” Yes ” にする。

Network

【問題点】

TSC-3 は Core250i の LAN B/AUX から起動することが出来ません

【回避策】

TSC-3 は必ず LAN A ネットワークに接続する必要があります。LAN B/AUX ネットワークはサポートされていません

Core Redundancy - CobraNet

【問題点】

スタンバイ状態の Core の CobraNet カード (CCN32) は自動的に送受信を切り替える制御がされていません。CobraNet カード搭載 Core の 2 重化をペアとして使用する際に影響を与える可能性があります。

Core Redundancy - Clock Master

【問題点】

Core をリダンダントする場合プライマリ Core が最優先のクロックマスターになります。バックアップ Core は 2 番目の優先となります。プライマリ Core がロスした場合や再起動した場合は短いオーディオストリームのドロップアウトが発生します。